





埼玉ワイルドナイツ！シーズン終了報告セレモニー＆パレード

５月21日、熊谷スポーツ文化公園西多目的広場などで、ファン交流イベントとして、シーズン終了報告セレモニー＆パレードが実施されました。
プレーオフトーナメント決勝戦で惜しくも敗れ準優勝という悔しい結果となりましたが、それでも全力プレーを続けた選手の皆さんをねぎらうかのように大きな拍手と歓声でイベントは幕を閉じました。









環境のことを考えるきっかけに

5月20、21日に開催された「くまがやエコライフフェア2023」では、環境問題に取り組む企業や団体の活動の展示、紹介がコミュニティひろばと八木橋百貨店で行われました。また、八木橋百貨店では、くまがや環境賞表彰式が行われ、熊谷市ほたるを保護する会が表彰されたほか、熊谷市環境ポスター展も行われ、市内の小学5・6年生が描いた作品のうち優秀作品に選ばれた児童が表彰されました。



新たな学び舎（や）　成田星宮小学校

5月26日、成田星宮小学校の開校式が挙行されました。開校式では新たな校旗の授与が行われ、新しい校歌を児童が元気一杯に合唱し、新たなスタートを切りました。



幻想的な里山を体感　こうなんホタル祭り

6月3日、こうなんホタル祭りが開催され、江南地域の小学生が作ったキャンドルの灯りと、ゲンジボタルの放つ幻想的な光に包まれました。

第3回

熊谷の元気な企業や団体を紹介します！

市長が訪問

株式会社アルビオン熊谷工場（船木台）



熊谷工場は、高級化粧品で知られる「アルビオン」や幅広い世代に人気のある「PAUL&JOE（ポールアンドジョー）」など、同社が展開する全ブランドの製品を生産する唯一の拠点です。

令和２年に竣工した第一生産棟は、医薬品の製造が可能なレベルの衛生管理と品質管理を実現する先進的な構造となっているだけでなく、生産工程を自動化し、人の重労働を大幅に削減し、そのぶん五感やスキル、ノウハウを活かす「人にしかできない仕事」に専念できる環境が整っています。また、障害者雇用と自立支援を目的とした「熊谷ワークライフセンター」を設置し、障害者雇用にも熱心に取り組んでいるそうです。

ほかにも工場を案内していただきながら、高品質を支える取組について丁寧に教えていただきました。

多治見（たじみ）取締役、大喜多（おおきた）工場長をはじめ、温かく迎え入れてくださった（株）アルビオンの皆様、本当にありがとうございました。

※詳しい訪問の様子は、右記コードからご覧ください。

◆政策調査課　TEL 内線 369

市ホームページ





Q 読んで当てよう！市報クイズ

今月の問題

次の〇〇に当てはまる言葉をお書きください。

熊谷の夏の風物詩、熊谷〇〇〇祭が今年は４年ぶりに通常開催されます！

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。

Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法　ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題の回答・アンケートの回答を必ず明記し、７月31日(月)までにご応募ください。(１人につき１通)

※回答がないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町 2-47-1
熊谷市広報広聴課

※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

５月号の正解

子ども（こども）

◆応募総数 196 通中　正解 175 通

今月のプレゼント

「niko（ニコ） ちいさな焼き菓子屋」の『お好きなマフィン』１つを 10 人にご提供します！


店舗外観

お店の方からひとこと

国産米粉を使用した体に優しいマフィンです。朝の焼きたてを準備してお待ちしております。

担当者からひとこと

お店に入った瞬間、優しい雰囲気に包まれ、焼き菓子の香ばしい香りがお店いっぱいに広がります♪乳製品と保存料を使わない米粉のマフィンは、妊婦の方や子どもたちにも大人気！自然とほほ笑んでしまうおいしさです。


プレゼント例



[店舗情報]

niko ちいさな焼き菓子屋
住　所：熊谷市星川 2-11
営業時間：11:00 ～ 17:00
定休日：月曜日（不定休有り）
インスタグラム @niko_yakigashi

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業などを募集しています。詳しくは、広報広聴課 TEL 内線 212 までお問い合わせください。

情熱世代

夢追い人

Dream Followers

自分を貫き、「好き」を仕事に

清水（しみず）　幸（ゆき）さん

週刊少年マガジン 連載漫画家（熊谷女子高校出身）



清水　幸
Twitter
@ yuki_2_s

“自分の得意なこと”で漫画人生を選んだ

中学生の時から描きたかった漫画。中・高では部活や学業に集中しており、漫画を描く時間がありませんでした。

高校3年生で進路を決める際、「自分の“得意”をひとつ持っていたい！」と漫画家への道を進むことを決意。卒業後、専門学校に入学し、漫画を描き始めました。

授業を受けながら独学でも漫画制作を進め、入学後5か月たつ頃から賞に応募したり、出版社に自分の作品を持ち込んで、編集の方に見ていただいたりと、コツコツと実績や技術を積み上げました。持込み先を「マガジン」にしたのは、小さい頃から大好きだったマガジン連載の漫画『ダイヤのA（エース）』への憧れからでした。

19歳で新人賞受賞、漫画家デビュー

現在連載中の、女子高校を舞台に繰り広げられるゆるく面白い日常を描いた作品は、「週刊少年マガジン新人賞」を受賞した読切作品が基になっています。正直なところ、ストーリー性よりもコメディ要素が大きい作品だったので、受賞するとは思っておらず、受賞の知らせには大変驚きました。

連載が決まった時には、背景の資料として母校を撮影させていただきました。高校時代はコロナ禍のために文化祭や体育祭などのイベントはあまり経験できませんでしたが、それでも楽しい毎日だったのを覚えています。そういった、何気ない日々の面白かったことが作品のネタにもなっています。

自分を貫いてやり続けるしかない！

現在はコメディを描いていますが、もともとスポーツが好きなので、読んだ人に「自分もスポーツをやりたい！」と思ってもらえるような作品をいつか描けたらいいなと思っています。そのためにも、苦手な背景を練習するなど、今自分にできることを続けていきたいです。

そうやって自分を貫き通したことで、好きなことを仕事にできるまでになりました。7月14日(金)には単行本第1巻の発売も控えています。ぜひ一度読んでいただき、応援していただけたらうれしいです！



「兎山女子高校2年1組!!」

RUGBY TOWN KUMAGAYA

リーグワン準優勝 埼玉パナソニック ワイルドナイツ

5月29日、久保田（くぼた）代表取締役、飯島（いいじま）ゼネラルマネージャー、木川（きかわ）スクマムコーチ、山沢拓也（やまさわたくや）選手ほかチーム関係者らが、小林市長を訪問し、リーグワン準優勝を報告してくれました。



山沢拓也選手インタビュー

◇今シーズンを振り返って

目指していた2連覇ができなかった悔しさが残りますが、私自身は出場時間が一番長いシーズンとなり、大きく成長ができたと思っています。

◇ファンの皆さんへ

地元熊谷からの応援は、楽しくラグビーができる環境になっています。これからも多くの方に応援していただけるよう頑張ります。今シーズンも熱い声援をありがとうございました！

※P5の関連記事も併せてご覧ください。

◆スポーツタウン推進課　TEL内線345

山沢（やまさわ）拓也（たくや）選手 サイン色紙プレゼント

3名様

応募方法

ハガキまたは下記コードにて、住所・氏名・年齢・電話番号・市報の感想・ワイルドナイツへのメッセージを明記し、7月31日（月）までにご応募ください。（1人につき1通）

応募先

〒360-8601
宮町2-47-1
熊谷市広報広聴課

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。





人口と世帯

●令和5年6月1日現在（対前月比）
■人口　193,071人(+176)　男　96,915人(+195)　女　96,156人(-19)　■世帯　90,137(+287)

「市報くまがや」7月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり18円です。

●発行日　令和5年7月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1156（直通）　FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/